

公益財団法人 東京大学学生キリスト教青年会主催 春季公開講演会

旧約聖書 と現代

— 「エデンの園」の物語にみる人間観 —

旧約聖書の劈頭を飾る「天地創造物語」と「エデンの園の物語」は後のキリスト教神学、なかでもその世界観と人間観の要となった。他方、19世紀末より、古代オリエントの膨大な文献・図像資料が知られるにおよび、これらの物語の宗教文化史的背景も明らかにされてきた。本講演では、古代オリエントの資料をふまえつつ、これらの物語に畳み込まれた人間観の一端を論ずるとともに、いまや死語と化しつつある「良心」という視点から、改めてその現代的意義に触れてみよう。

2021年6月12日(土)

14:00 開演 ~ 15:30 終演予定

つきもと あきお

講師：月本昭男 (公益財団法人東京大学学生キリスト青年会理事)

場所：Zoom オンライン開催

※ 入場料無料

Zoom URLは 東大YMCA寮までお問い合わせください。

(mail: todayymca@gmail.com)



website: <http://todayymca.or.jp/>



— 講師略歴 —



1948年長野県生まれ。

1971年東京大学文学部宗教学・宗教史学科卒業後、同大学院、ドイツ・テュービンゲン大学で学ぶ(Dr. Phil.)。

1981年から2014年まで立教大学教員。2014年から上智大学神学部特任教授。

2016年から古代オリエント博物館館長兼務、2020年から東大YMCA理事長。

専門は古代オリエント学、旧約聖書学、宗教史学。著書は『古代メソポタミアの神話と儀礼』(岩波書店)、

『詩篇の思想と信仰(1~VI巻)』(新教出版社)、『物語としての旧約聖書(上・下)』(NHK出版)ほか。